

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	－	－	－
	やや良く なっている	その他専門店 [書籍]（店 長）	販売量の動き	・ここ3か月の売上が前年比を上回っている。
		住宅販売会社 （総務・企画分 野）	来客数の動き	・住宅展示場への来場者数は、3か月前と比べ増加し ている。しかし、受注状況は、良くなっているではない。
	変わらない	コンビニ（経営 者）	販売量の動き	・たばこ・飲料の不足で、売上が減少している。
		その他飲食[居 酒屋]（経営 者）	来客数の動き	・東日本大震災の影響で観光客の入客は前年の60%ぐ らいに落ち込んでいるが、食べ飲み放題、低価格メ ニューの影響で地元客の入客が増え、総計では前年比 20%増で推移している。
		通信会社（店 長）	販売量の動き	・前年と比べてもあまり変わっていない。
		ゴルフ場（経営 者）	来客数の動き	・来客数は、相変わらず低い数値で推移している。
	やや悪く なっている	一般小売店 [鞆・袋物] （経営者）	お客様の様子	・客は必要な物しか買わない傾向がある。
		百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・東日本大震災後、ミセス層の購買が落ち、客単価の 減少につながっている。しかし、今月は大規模な改装 を仕掛け、ヤング層の購買が上がり、店全体では前年 を捉えている。ただし、既存売場の動向を冷静にみる と、今後の動向が懸念される。
		スーパー（企画 担当）	お客様の様子	・客単価が前年を4%ポイント程下回る。新店出店も あり、売上・客数は前年を上回っているが、客の買上 点数、1品単価共に前年を下回っている。特に青果部 門、日配部門での売上の落ち込みが大きく、東日本大 震災による商品供給体制への影響が大きいと推測され る。
スーパー（販売 企画担当）		販売量の動き	・1点単価は若干上向きであるが、販売点数が下が ってきおり、そのため客単価が落ちている。来客数も、 競合の多い店舗は大変厳しい。	
コンビニ（経営 者）		それ以外	・東日本大震災の影響による物流の悪化で、商品の入 荷が少なくなっている。	
コンビニ（エリ ア担当）		販売量の動き	・売上は前年を超えてはいるが、たばこ以外の売上が 前年並みをカバーするには至っていない。今後はたば このほとんどは本部からの送り込みでしか対応でき ず、更なる客離れの要因となりつつあり、飲料や食品 の売上にも影響している。	
衣料品専門店 （経営者）		来客数の動き	・東日本大震災の影響があり、観光客数が2～3割ぐ らい落ち込んでいる。	
その他専門店 [楽器]（経営 者）		来客数の動き	・もともと前年の売上が悪かったため、それ以上悪く なりようがないと考えていた。しかし前年を大幅に下 回っている。観光客数も、インターネットでの問い合 わせや注文も減少している。	
悪く なっている	観光型ホテル （マーケティング 担当）	販売量の動き	・東日本大震災の影響が大きく、稼働率が前年同月実 績を大幅に下回っている。3か月前が良かったわけ ではないが、それ以上に前年からの下落幅が大きくな っている。	
	旅行代理店（代 表取締役）	販売量の動き	・旅行自粛ムードもあり、関東方面へのビジネス出張 が無い、関東以北への旅行客激減が減少するなど、旅行 業界はかなり厳しい。	
	その他のサービ ス[レンタ カー]（営業担 当）	来客数の動き	・東日本大震災以降、観光客の予約が減少しており、 前年比80%と、3月同様厳しい状況が続いている。	
企業 動向 関連	良く なっている	○	○	○
	やや良く なっている	通信業（営業担 当）	受注量や販売量 の動き	・本土からの大手メーカーとの契約があり、近々本稼 動に入る。

変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事は予算執行が進むなか、前年比増となっている。民間工事は、住宅を主に前年比増となっている。	
	建設業（経営者）	取引先の様子	・東日本大震災の影響で建築資材、及び設備機器の入荷遅れのため、工事が遅れている。	
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・外食系取引先の新規店舗オープンや、大手ホームセンターの進出、家具販売店の販売量増など景気が良くなっている感はあるが、一時的なものと思われる。	
	輸送業（代表者）	受注量や販売量の動き	・宮古地区が依然堅調である。前月は東日本大震災の影響で観光客のキャンセルが多く、雰囲気は悪かった。	
やや悪くなっている	会計事務所（所長）	受注量や販売量の動き	・基幹産業である観光業を中心に、これまでに無いくらいキャンセルが相次いでいる。	
	コピーサービス業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・もともと年度初めは受注量は減少する傾向であるが、東日本大震災の影響で、印刷物の受注が予算の関係上減少するとみられる。	
悪くなっている	—	—	—	
雇用 関連	良くなっている	—	—	
	やや良くなっている	—	—	
	変わらない	職業安定所（職員）	それ以外	・中東情勢の不安定化による原油小売価格の高騰を受け、一部製造業者における事業所閉鎖、事業主都合による離職者の漸次増加等から、有効求職者が前年比で17.5%増加している。また、東日本大震災における製造業、サービス業、流通産業からの求人取消等の不安定要因もある。ただし、新規求人は前年同月に比べ増加しており、有効求人倍率も改善している。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・既往取引の派遣先からの新規案件が減少している。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・今回の東日本大震災の影響で求人数が減少し、採用数も少なくなってきた。
	悪くなっている	—	—	—